

主要産地における平成28年産水稻の生育状況等について 第3報 (6月6日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成28年6月7日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(育苗・田植)	(全道) 生育は平年並 (早2日)。移植作業は平年並に始まっている (早1日)。雪解けも速く、気温も高く推移したことから、農作業・生育は順調に進んでいる。(北海道農政部 5月15日現在) (空知) 苗の生育は順調 (早2日)。(空知総合振興局 5月15日現在) (石狩) 生育は順調。一部で移植が始まっている (早3日)。(石狩総合振興局 5月15日現在) (後志) 苗の生育は平年より1日程度早い。移植が始まり、移植の進捗率は1% (早2日)。(後志総合振興局 5月15日現在) (胆振) 苗の生育は平年並。(胆振総合振興局 5月15日現在) (日高) 苗の生育は平年並み (早1日)。(日高総合振興局 5月15日現在) (渡島) 苗の生育は平年並に推移 (早2日)。(渡島総合振興局 5月15日現在) (檜山) 苗の生育は平年並 (早1日)。(檜山振興局 5月15日現在) (上川) は種や蒔きが平年並に進み、生育も平年並に推移している。(早1日)。(上川総合振興局 5月15日現在) (留萌) 生育は順調 (早3日)。出芽期は4月24日。一部で移植作業が始まった。(留萌振興局 5月15日現在) (オホーツク) 生育は平年並み (早1日)。出芽期は4月26日 (オホーツク総合振興局 5月15日現在)	・6月のヒメトビウンカの発生量はやや多く、イネドロオウムシの発生量はやや少なく、フタオビコヤガの発生量は少ないと予報 ・抵抗性イネドロオウムシに対する薬剤の選択に注意するよう指導 (北海道病害虫防除所 5月30日公表)
青森	(生育)	(黒石) ・5月31日現在の「つがるロマン」は、草丈が23.2cmで平年より2.9cm長く、株当たり葉数は3.9本で平年並み、葉齢は4.6葉で平年より0.5葉多かった。「青天の霹靂」は、草丈が26.3cmで前年より3.5cm長く、株当たり葉数は4.0本で前年並み、葉齢は4.5葉で前年より0.2葉多かった。 (十和田) ・5月31日現在の「まっしぐら」は、草丈が32.7cmで平年より8.5cm長く、株当たり葉数は4.6本で平年より0.6本多く、葉齢は5.1葉で平年より0.6葉多かった。 (青森県産産技術センター農林総合研究所 6月1日付) (生育) ・5月25日現在の田植進捗状況は、県全体で90%となっており、平年より6ポイント高かった。県全体の田植最盛期は、平年並の5月21日であった。 <地区別進捗状況> (東青) 83% (中南) 87% (西北) 93% (上北) 93% (下北) 50% (三八) 83% (青森県 5月26日付)	・6月のイネミズゾウムシの発生時期は早く発生量はやや多い、イネドロオウムシの発生時期は早く発生量は平年並と予想 (青森県病害虫防除所 5月31日公表) ・イネミズゾウムシの発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 5月24日付)
岩手	(田植)	・県全体の田植最盛期は5月17日と見込まれ、田植作業は適期内に終わる見込み。田植時期の気温・日照時間とも平年を上回り、活着は概ね良好。直播栽培播種後出芽までの気温が平年より高く経過しており、県内各地とも出芽は良好。(岩手県 5月26日付)	・6月のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並の予報。 イネミズゾウムシ、イネドロオウムシの発生量はやや少ないと予報 斑点米カメムシ類(アカスジカメムシ)は、県中南部を中心にすでにふ化盛期を迎えているため、草刈りなどの管理を指導。 (岩手県病害虫防除所 6月1日公表)
宮城	(生育)	・6月1日現在、水稻の生育は順調であり、葉数(平年差+0.6枚)から見たところ、平年に比べて4~5日程度進んでいると思われる。草丈は26.4cm(平年比120%)、1㎡当たりの葉数は126本(平年比124%)であった。【県全体の平均】(宮城県 6月2日付) (大河原) 田植作業は、平年並のペースで進んだ。6月1日現在、平年と比較して草丈は長め、葉数は平年並、葉数は平年並、苗の活着も良く、生育は順調。(大河原農業改良普及センター 6月2日付) (美里) 6月1日現在、草丈、葉数、葉数ともに平年を上回っており、生育は順調。(美里農業改良普及センター 6月3日付) (本吉) 6月1日現在、葉数は平年より約1枚進んでおり、生育は平年より5~7日ほど進んでいる。気仙沼市ひとめぼれでは、植え付け本数・栽培密度とも平年より少なく、葉数も平年より少なくなっている。南三陸町ササニキでは、草丈・葉数ともに平年を上回っている。管内全体も、生育は順調で、平年より進んでいる。(本吉農業改良普及センター 6月2日付)	・イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並の予報。 (宮城県病害虫防除所 5月20日公表)
秋田	(田植)	(北秋田) 5月30日現在の田植作業進捗率は、98%と概ね終了している。田植後の生育は、好天に恵まれ良好。(6月3日付) (山本) 5月30日現在、本田の田植作業の進捗状況は99.1% (平年: 99.0%) で、終期は5月25日であった。(6月3日付) (由利) 5月30日現在、田植作業の進捗率は97.5%で、終期は平年並みの5月29日となった。(6月3日付) (平鹿) 田植の進捗率は5月29日、平年より2日早く進んでいる。(6月3日付) (秋田) 田植作業の終期は平年と同じ5月26日。5月30日現在の田植作業の進捗率は99.6%となり、作業はほぼ終了している。(6月3日付) (雄勝) 田植作業の終期は5月30日となり、平年より1日早くなった。(6月3日付) (鹿角) 田植作業の進捗状況は5月26日現在で95%を超え、終期を迎えた。移植後の活着も良好で順調に生育している。(5月27日付) (仙北) 耕起作業は5月10日現在で83.5% (平年83.1%) の進捗となっている。4月下旬の降雨等により、耕起作業に若干遅れが見られたものの、作業は概ね順調に進んでいる。直播栽培の播種作業は今週末に盛期を迎える見込み。(5月13日付) (秋田県農林政策課)	・6月の葉いもちの感染量は平年並、ばか苗の発生量は平年並の予報。 イネミズゾウムシの発生時期は早く、発生量は多いと予報。 斑点米カメムシ類の発生時期は早く、発生量は多いと予報。 イネドロオウムシの発生量は少なく、イネミクワバエとニカメイガ、フタオビコヤガの発生量はやや少ないと予報 (秋田県病害虫防除所 5月27日公表) ・イネミズゾウムシの発生は「多い」と予想 (農林水産省 5月24日付)
山形	(生育)	・5月31日現在、平坦部「はえぬき」で、草丈は平年より長く、葉数は平年並、葉数は多く、生育は2~3日早まっている。直播栽培は、播種後の好天により、全国的に苗立ちが良好となっている。「つや姫」は、各地域とも順調に田植が行われた。生育は平年より3日程度早く、草丈は平年より長く、葉数は平年並。(オールやまがた米づくり日本一運動本部 5月31日付) (酒田) 5月31日現在、活着は良好で、初期生育も順調に推移している。湛水直播栽培の苗立ちも良好。乾田V湛水直播栽培も出芽・苗立ちも良好。(酒田農業技術普及課 6月2日付) 5月31日現在の「つや姫」の生育は平年より2~3日早く、葉数が急増中。草丈は平年並~長く、葉数は平年並~多く(バラつきが見られるが急増中)、葉数の展開は2~3日早い。(酒田農業技術普及課 6月1日付) (鶴岡田川) 5月31日現在、草丈は長く、葉数は平年に比べ3~4日程度早く、葉数は平年並。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月2日付) (最上) 移植作業は、始期が5月18日、盛期が21日、終期が28日(見込み)と、平年並からやや早い進捗状況となっている。(最上総合支庁農業技術普及課 5月27日付) (北村山) 田植は、始期5月14日、盛期5月21日、平年並に順調にすすんだ。(北村山農業技術普及課 5月26日付) (東南村山) 今年も高温基調であり雑草の発生と生育が早まること見込まれるため、除草剤は遅れずに散布するよう指導。(5月19日付) 田植は5月25日頃を境に、できるだけ好天の日を選んで行うよう指導。(5月11日付) (村山総合支庁農業技術普及課) (西村山) 田植は適期は、5月25日頃までを目安に指導。(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日付) (置賜) 気温の高い日が続くこと予想され、苗焼けや苗の伸びすぎないよう温度管理を指導。田植の適期は5月15日~20日頃。つや姫の田植は5月20日まで。(置賜総合支庁 5月6日付)	・6月の葉いもちは発生時期、発生量ともに平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報。 (山形県病害虫防除所 6月1日公表)
福島	(育苗・田植)	・移植栽培用の播種作業は、盛期が4月16日、終期が4月24日、それぞれ平年に比べ1日早まった。湛水直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まっている。移植栽培も、早いところでは4月下旬から田植が始まっている。(福島県農林水産部 5月12日付)	・6月の葉いもちの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネメハエグリバエの発生量はやや少なく、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並からやや少ないと予報 (福島県病害虫防除所 5月27日公表)
茨城	(水戸市)	5月31日現在、5月2日に移植した「あきたこまち」の生育は平年並み、「コシヒカリ」は平年より1日程度進んでいる。平年に比べ、草丈は「あきたこまち」でやや低く、「コシヒカリ」で平年並み、葉数は両品種ともにやや少なく、葉色は両品種ともに平年並み。5月10日に移植した「コシヒカリ」の生育は平年より1日程度遅れている。平年に比べ、草丈は低く、葉数はやや多く、葉色は平年並み。(5月31日付) (龍ヶ崎市) 5月27日現在、4月27日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は、平年より5日程度早い。両品種の草丈は平年より長く、葉数は多い~長く多く、葉色はやや濃い。5月6日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は平年より1~2日早い。両品種の草丈は平年よりやや長い~長く、葉数はやや多く、葉色は平年並み~やや濃い。(6月2日付) (茨城県農業総合センター農業研究所)	・6月の綿葉枯病(ヒメトビウンカ)は、県西地域と県南の一部地域で平年より発生時期が早く、発生量は多いと予報。 ニカメイガは、県下全域で発生時期が早く、発生量は多いと予報 (茨城県病害虫防除所 5月31日公表) ・イネ綿葉枯病(ヒメトビウンカ)の注意報が発表された (農林水産省 4月19日付)

	生育状況等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
栃木	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早播栽培コシヒカリの本田における生育状況は、草丈は高く（平年比107%）、葉数はやや少ない（98%）、葉齢は多く（+0.3葉）。葉色は平年並（±0）。生育診断値（葉色×葉数）は平年よりやや小さい（96%）。 （栃木県農政部 5月30日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・注意報—イネ縞葉枯病が、県中南部地域で発生量が多いと予報 一部地域でニカメイガの多発生を懸念。第1世代幼虫の防除時期は、6月上旬～中旬と予報（栃木県農業環境指導センター 6月1日公表） ・ヒメトビウカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は、県中部で8.3%、県南部で7.1%と高い状況が続いており、県北部でも徐々に高まっている。（栃木県農業環境指導センター 5月27日公表） ・5月下旬～6月下旬のイネ縞葉枯病の発生量はやや多いと予報（栃木県農業環境指導センター 5月20日公表）
埼玉		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもちの発生量はやや多く、ニカメイチュウの発生時期はやや早く発生量はやや多い、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量少なく、ヒメトビウカの発生量はやや多く、縞葉枯病の発生量は多いと予報（埼玉県病害虫防除所 5月27日公表） ・イネ縞葉枯病、イネいもち病の発生は「多い」と予想（農林水産省 5月24日付）
千葉	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月1日現在の生育は、平年よりやや早くなっている。ただし、補付直後に強風や一時的な低温にあったほ場では、生育差が見られており、平年と比較して、草丈がやや低く、葉数がやや少なくなっている。「ふさおとめ」の幼穂形成期は6月14日頃かかと予報。 （千葉県農林水産部 6月3日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう1か月のいもち病の発生量は平年並、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、イネクロカメシ及びジャンボタニシの発生量はやや多いとの予報（千葉県農林総合研究センター 5月12日公表） ・イネ縞葉枯病、イネミズゾウムシの発生が「やや多い」と予想（農林水産省 5月24日付）
新潟	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月30日現在、コシヒカリは県平均で指標値に比べ、葉数の進みはややく、葉数は多く、草丈は長い状況。こしいぶきも、県平均では指標値に比べ、葉数の進みは早く、葉数は多く、草丈は長い状況。今後、分けつの発生が旺盛となり、平年より早く中干し適期に達する見込み。 （新潟県農林水産部 5月31日付） （魚沼） 田植え後の好天により、葉数は順調に増えており、生育が早まっている。 （JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月1日付） （新津） 5月30日現在、生育はややく、葉数はコシヒカリ用で多く、こしいぶきで平年並～やや多い（地域間差大）。 （新津農業普及指導センター 5月31日付） （岩船） 田植え盛期は5月11日で平年並。5月30日現在、草丈はややく、葉数は並～多く（順調）。葉数は進んでおり、多くのほ場で分けつが発生している。（村上農業普及指導センター 5月30日現在） （三条） 生育は近年より3日程度早い。草丈は長く、葉数は多く、葉数は多い。（三条農業普及指導センター 5月30日付） （長岡） 5月上旬に植えられたほ場では、田植え以降の高温続きで生育が早まり、分けつの発生が多く、早めの中干し開始が必要となっている。（長岡農業普及指導センター 5月31日付） （佐渡） 5月30日現在のコシヒカリの生育は、葉数はやや多く、草丈・葉数はほぼ指標並。海岸部で葉数がやや遅れ。 （佐渡農業普及指導センター 5月30日付） （新発田） コシヒカリは、移植後の活着は、平年に比べやや早く・やや良。田植え以降、高温で推移したことから、水稻の生育は旺盛。5月30日現在、生育は平年に比べ4日程度進んでいる。（新発田農業普及指導センター 5月30日付） （新潟） 5月30日現在、コシヒカリは、目標に比べて草丈は「長い」、葉数は「多い」、葉齢は「並」となっている。生育は概ね順調だが、田植え時の強風で植え傷みや、アオミドロや表層剥離が発生しているほ場も見られる。 （新潟農業普及指導センター 5月30日付） （上越） 6月が高温で経過したことから、例年になく早く進んでいる。5月30日現在のコシヒカリの生育は、草丈は長く、葉数は多く、葉数は多い。（上越農業普及指導センター 5月30日付） 田植えの盛期は平年よりやや早い5月14日。5月上旬の強風時移植の一部に生育停滞が見られるが、全体的な初期生育は概ね良好。（上越農業普及指導センター・上越地域農業振興協議会 5月23日付） （柏崎） 5月30日現在、こしいぶきの生育は概ね順調。平坦地コシヒカリは指標値と比べて、草丈はややく、葉数はやや多く、葉数はやや早い（2日程度）。5月15日以前田植えのほ場では分けつが発生している。 （柏崎農業普及指導センター 5月30日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、ニカメイチュウ第1世代は平年並～やや少なく、ツマグロヨコバイは平年並～やや多く、イネドロオウムシは平年並～やや少なく、イネミズゾウムシは平年並の予報（新潟県病害虫防除所 5月31日公表）
富山	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育観測ほデータ（5月31日現在） 「てんたかく」平年に比べ、草丈はかなり長く、葉数はかなり多く、葉齢は進んでいる。 「コシヒカリ」平年に比べ、草丈はかなり長く、葉数はかなり多く、葉齢はやや進んでいる。 「てんこもり」平年に比べ、草丈は長く、葉数はかなり多く、葉齢は進んでいる。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月31日付） （直播情報） ・湛水直中直播栽培（カルパー）の生育は、平年に比べ、草丈は19.4cmと長く、葉数は104本/m²（苗立本数比159%）とかなり多く、葉齢展開は3.6葉と進んでいる。 ・湛水表面直播栽培（鉄）の生育は、草丈は14.9cm、葉数は82本/m²、葉齢は3.4葉となっている。 ・乾田V溝直播栽培の生育は、草丈は12.1cm、葉数は204本/m²、葉齢は2.9葉となっている。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月27日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもち病、紋枯病は多いと予報。 斑点米カメシ類の発生量は、アカヒゲソシドリカスミカメはややく、アカスジカスミカメは多く、トゲシラホシカメシは平年並の予報。 ニカメイガの発生量は平年並、イネミズゾウムシはややく、イネドロオウムシは少なく、ツマグロヨコバイは平年並の予報（富山県農林水産総合技術センター 6月1日公表）
石川	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月27日現在、葉齢は、コシヒカリが平年比99～117%（県平均105%；加賀：+0.2葉、能登：+0.5葉）、ゆめみづほが近年比99～119%（県平均107%；加賀：+0.3葉、能登：+0.8葉）となっている。葉齢展開は、コシヒカリで平年に比べ1～3日程度早く、草丈は、コシヒカリが平年比87～105%（県平均97%；加賀：95%、能登：101%）と概ね平年並、ゆめみづほが、近年比84～109%（県平均97%；加賀：96%、能登：103%）と近年並となっている。 葉数は、コシヒカリが平年比97～154%（県平均120%；加賀：116%、能登129%）と平年に比べやや多～多く、前年並みとなっている。ゆめみづほが、近年比95～159%（県平均115%；加賀：111%、能登133%）と近年に比べやや多～多く、前年に比べ加賀地域ではやや少なく、能登地域ではやや多くなっている。 葉齢を基に葉数の増加及び草丈の伸長を平年と比較すると、草丈の伸長はコシヒカリ、ゆめみづほともに概ね平年並となり、葉数の増加についても、コシヒカリ、ゆめみづほともに概ね平年並となっている。 （石川県農林水産部農林総合研究センター 5月27日調査） 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬～6月中旬の斑点米カメシ類の雑草地における発生はややくと予想。今後急激な増加も考えられることから、生息場所となる農道、畦畔、休耕田及び遊休地等の雑草の除草を徹底するよう指導。葉いもちの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量はやや少の予報（石川県農林総合技術センター 5月26日公表）
福井	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月1日現在、連休に移植または播種した直播圃場では生育はややく、分けつ確保も良好。移植コシヒカリの草丈は長く、分けつ数もやや多い。ハナエネゼン生育が4日程度早く、草丈が長く、分けつ数は平年並み。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月2日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月のいもち病、紋枯病の発生量は平年より多く、ニカメイガ、イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、イネドロオウムシ、イネヒメハモグリバエの発生量は平年より少ないとの予報（福井県農業試験場 5月30日公表）
長野		<ul style="list-style-type: none"> ・向こう1か月のニカメイチュウの発生量ははややく、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並～やや少の予報（長野県病害虫防除所 5月16日公表）
滋賀	<ul style="list-style-type: none"> ・5月31日現在、移植後は高温に経過したことから、活着は良好で初期生育は順調に進んでいる。草丈は、「コシヒカリ」が平年よりやや長く、「秋の種」が平年よりやや短かった。葉数は、両品種ともに平年よりかなり多かった（平年の約1.5倍）。葉数は、両品種とも平年より0.7枚多かった。 4月下旬～5月上旬移植のみすがみは、すでに目標葉数（60株補：16本/株、70株補：14本/株）に達しているほ場が多い。 5月中旬移植のみすがみは、分けつ盛期になっている。 （滋賀県農業技術振興センター 6月3日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもち、ニカメイガ第1世代、イネドロオウムシ、イネミズゾウムシの発生量は平年並の予報（滋賀県病害虫防除所 5月24日公表）
兵庫	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月26日現在、県北は本田での生育は順調、県南は苗の生育は順調。 （兵庫県農政環境部 5月30日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもちの発生量は平年並、ヒメトビウカ、セジロウシ、トビイロウシの発生量はやや多いとの予報（兵庫県病害虫防除所 6月2日公表） ・西播磨地域では、イネ縞葉枯病が多発傾向。（兵庫県農政環境部 5月30日付）
岡山		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもちの発生量は平年並、ヒメトビウカ、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平年並の予報（岡山県 6月1日公表）

	生育状況等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
広島		
山口		<ul style="list-style-type: none"> 6月の総葉枯病の発生量は平年並の予報 (山口県病害虫防除所 6月1日公表)
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> 普通期水稻の平坦地における移植適期は、にこまるが6月中旬、ヒノヒカリが6月中下旬。 (愛媛県農林水産研究所 5月31日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 6月のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並～やや多く、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウナカ、セジロウナカ、トビイロウナカの発生量は平年並と予報 (愛媛県病害虫防除所 5月30日公表)
高知	<ul style="list-style-type: none"> 早期水稻（5月25日現在） 4月5日植えの「南国そだち」は、平年より草丈が長く、葉数はやや多め、葉齢でみた生育進度は早く、幼穂形成期は5月24日で、平年より5日早くなっている。 4月5日植え「コシヒカリ」は、平年より草丈は長く、葉数も多く、生育進度はやや早くなっている。 4月14日植え「コシヒカリ」は、平年より草丈はやや長く、葉数がやや多め、生育進度は平年並み。 (高知県農業技術センター 6月1日付) 生育 	<ul style="list-style-type: none"> 6月のいもち病の発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量は県中央部で多く、県東、県中西部、県西部では平年並、セジロウナカ、ヒメトビウナカの発生量は平年並と予報 (高知県病害虫防除所 6月3日公表)
福岡	<ul style="list-style-type: none"> 早期水稻（夢つくし、コシヒカリ） 田植え時期は平年並みで、5月15日には終了している。田植え後の高温より初期生育は順調。 普通期水稻（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ） 苗の生育は順調。高温対策のため田植えは「夢つくし」が6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」が6月下旬を中心に行われる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 平成28年5月16日専技情報より抜粋) 田植 	
熊本		<ul style="list-style-type: none"> 6月の早期・早植水稻のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並の予報 (熊本県病害虫防除所 5月31日公表)
宮崎		<ul style="list-style-type: none"> 6月の早期水稻の葉いもちの発生量は平年並の予報。 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月30日公表)
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> 6月1～3日の調査結果では、早期水稻の斑点米カメムシ類の発生量がやや多いとの予報（鹿児島県病害虫防除所6月6日） 6月の早期水稻のいもち病、紋枯病の発生量は平年並の予報 (鹿児島県病害虫防除所 5月30日公表)

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考					
		生産数量目標			自立的取組参考値（深堀）	収穫量（主食用） 27年度	作況指数 27年度
		平成28年度	前年度との比較	増減率			
全 国	<p>・6月4日～7月3日の1か月間は、北日本では、気温が高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 東日本では、気温は平年並か高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。 西日本では、気温は高く、降水量は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並が多く、日照時間は、日本海側では平年並が多く、太平洋側ではほぼ平年並の見込み。 沖縄・奄美では、気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （気象庁 6月2日発表）</p> <p>（6～8月の3か月間の見通し）</p> <p>・6月は、北日本と東日本日本海側では、期間の後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。気温は、北・東・西日本で平年並または高く、降水量は、西日本太平洋側で平年並か多い見込み。</p> <p>・7月は、北・東日本では、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。西日本では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は、北・東・西日本でほぼ平年並で、沖縄・奄美では高い見込み。降水量は、北・東・西日本で平年並か多い見込み。</p> <p>・8月は、北日本では、気温はほぼ平年並、東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は、東日本で平年並か高く、西日本と沖縄・奄美で高い見込み。降水量は、北日本で平年並か多い見込み。 （気象庁 5月25日発表）</p>	7,430,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,350,000	7,442,000	104
北 海 道	<p>・北海道地方の6月4日～7月3日の1か月間は、平均気温は平年より高く、日照時間は平年並も多く、降水量はほぼ平年並の見込み。 （札幌管区気象台 6月2日発表）</p>	541,500	▲ 5,830	▲ 1.1	535,669	559,600	104
青 森	<p>・東北地方の6月4日～7月3日の1か月間は、日照時間は平年並か多く、降水量は平年並か少ない見込み。気温は、東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並か高い見込み。 （仙台管区気象台 6月2日発表）</p>	239,877	▲ 2,583	▲ 1.1	237,294	229,800	105
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月2日発表）	268,321	▲ 2,889	▲ 1.1	265,432	269,400	105
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月2日発表）	344,906	▲ 3,714	▲ 1.1	341,193	348,400	103
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月2日発表）	413,092	▲ 4,448	▲ 1.1	408,644	419,400	103
山 形	同上（仙台管区気象台 6月2日発表）	340,830	▲ 3,670	▲ 1.1	337,160	354,300	103
福 島	同上（仙台管区気象台 6月2日発表）	335,933	▲ 3,617	▲ 1.1	332,316	342,600	101
茨 城	<p>・関東甲信地方の6月4日～7月3日の1か月間は、日照時間は平年並か多く、降水量は平年並か少ない見込み。期間の前半は、降水量の少ない状態が続くところがある見込み。気温は平年並か高い見込み。 （気象庁 6月2日発表）</p>	333,776	▲ 3,594	▲ 1.1	330,182	345,400	96
栃 木	同上（気象庁 6月2日発表）	295,508	▲ 3,182	▲ 1.1	292,326	287,300	98
埼 玉	同上（気象庁 6月2日発表）	149,659	▲ 1,611	▲ 1.1	148,047	152,200	97
千 葉	同上（気象庁 6月2日発表）	243,864	▲ 2,626	▲ 1.1	241,239	297,500	101
新 潟	<p>・北陸地方の6月4日～7月3日の1か月間は、2週目を中心に平年に比べ晴れの日が多いため、向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。 （新潟地方気象台 6月2日発表）</p>	515,737	▲ 5,553	▲ 1.1	510,184	539,600	97
富 山	同上（新潟地方気象台 6月2日発表）	183,672	▲ 1,978	▲ 1.1	181,695	191,200	103
石 川	同上（新潟地方気象台 6月2日発表）	122,313	▲ 1,317	▲ 1.1	120,996	123,200	101
福 井	同上（新潟地方気象台 6月2日発表）	124,124	▲ 1,336	▲ 1.1	122,787	123,800	99
長 野	<p>・関東甲信地方の6月4日～7月3日の1か月間は、日照時間は平年並か多く、降水量は平年並か少ない見込み。期間の前半は、降水量の少ない状態が続くところがある見込み。気温は平年並か高い見込み。 （気象庁 6月2日発表）</p>	191,933	▲ 2,067	▲ 1.1	189,867	194,500	97

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	・近畿地方の6月4日～7月3日の1か月間は、平年と同様に曇りや雨の日が多くなる見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。気温は平年並が高い見込み。 (大阪管区気象台 6月2日発表)	158,741	▲ 1,709	▲ 1.1	157,032	158,500	100
兵 庫	同上（大阪管区気象台 6月2日発表）	178,518	▲ 1,922	▲ 1.1	176,596	178,900	99
岡 山	・中国地方の6月4日～7月3日の1か月間は、2週目の気温は高く、3～4週目は平年並か高く、向こう1か月を平均した気温は平年並か高い見込み。日照時間は平年並が多く、降水量はほぼ平年並の見込み。 (広島地方気象台 6月2日発表)	156,861	▲ 1,689	▲ 1.1	155,172	149,500	96
広 島	同上（広島地方気象台 6月2日発表）	128,585	▲ 1,385	▲ 1.1	127,201	121,700	96
山 口	・九州北部地方（山口県含む）の6月4日～7月3日の1か月間は、気温は高く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性がある。 (福岡管区気象台 6月2日発表)	107,601	▲ 1,159	▲ 1.1	106,443	100,700	97
愛 媛	・四国地方の6月4日～7月3日の1か月間は、気温は平年並か高く、降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (高松地方気象台 6月2日発表)	73,133	▲ 787	▲ 1.1	72,345	71,200	98
高 知	同上（高松地方気象台 6月2日発表）	49,537	▲ 533	▲ 1.1	49,003	52,800	96
福 岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月4日～7月3日の1か月間は、気温は高く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性がある。 (福岡管区気象台 6月2日発表)	180,526	▲ 1,944	▲ 1.1	178,582	172,300	95
熊 本	同上（福岡管区気象台 6月2日発表）	187,293	▲ 2,017	▲ 1.1	185,277	171,500	97
宮 崎	・九州南部地方の6月4日～7月3日の1か月間は、気温は高く、降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (鹿児島地方気象台 6月2日発表)	92,603	▲ 997	▲ 1.1	91,606	74,700	93
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 6月2日発表）	109,887	▲ 1,183	▲ 1.1	108,704	95,700	95

参考資料:

平成28年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成27年度産米の収穫量(農林水産省)
平成28年度病害虫発生予報第2号(農林水産省)

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道 5月20日)、農作物生育状況 5月15日現在(北海道空知総合振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道石狩振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道後志総合振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道胆振総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道日高振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道渡島総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道檜山振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道上川総合振興局 5月20日)、農作物生育状況調査の概要 5月15日現在(北海道留萌振興局 5月20日)
農作物の生育と農作業の進捗状況 5月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 5月20日)、
病害虫発生予察情報第3号6月予報(北海道病害虫防除所 5月30日)、
H28水稲作況(移植時の苗)・H28水稲作況(発根調査)(青森県産業技術センター農林総合研究所 5月30日、5月25日現在田植え進捗状況(青森県 5月26日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月31日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県 5月26日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(岩手県病害虫防除所 6月1日)、
平成28年度水稲の田植進捗状況について(5月19日現在)(宮城県農林水産部 5月23日)、平成28年度発生予察情報発生予報第3号-水稲-(宮城県病害虫防除所 5月20日)、
平成28年度仙南稲作情報(第1号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月2日)、平成28年度産美里地区の稲作情報第1号(宮城県美里農業改良普及センター 6月3日)、
稲作情報Vol.1(本吉農業改良普及センター 6月2日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 6月3日)、
平成28年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月27日)、
米づくり技術情報NO.(オールやまがた米づくり日本一運動本部 県産米ブランド推進課 5月31日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第4報(酒田農業技術普及課 6月2日)、酒田飽海つや姫情報第3号(酒田農業技術普及課 6月1日)、
おいしい米づくり情報第6号(村山総合支庁農業技術普及課 6月2日)、
稲作だより第3号(村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課 5月26日)、稲作だより第5号本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 5月27日)、
つや姫だより第2号(庄内総合支庁農業技術普及課 5月22日)、
おいしい米づくり情報第4号(村山総合支庁農業技術普及課 5月11日)、稲作だより第3号(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日)、
おきたま米づくり情報No.3(置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課 5月6日)、つや姫だより第1号(最上総合支庁農業技術普及課 4月22日)、
平成28年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 6月1日)、
主要な農作物の生育情報平成28年度第2号(福島県農林水産部 5月12日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月27日)、
農研速報(水稲の生育状況)(5月31日現在、水戸市)、(5月27日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月2日)、
病害虫発生予報5月号(茨城県病害虫防除所 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、
平成28年度病害虫発生予察注意報第1号・植物防疫ニュース(速報No.3)(栃木県農業環境指導センター 6月1日)、
平成28年度水稲生育診断予測事業速報No.1(栃木県農政部 5月30日)、
植物防疫ニュース(速報No.2)(栃木県農業環境指導センター 5月27日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、
平成28年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月27日)、
水稲の生育状況と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月3日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(千葉県病害虫防除所 5月12日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第1号)(新潟県農林水産部 5月31日)、稲作技術情報No.3(水稲生育速報No.1)(新潟農業普及指導センター 5月31日)、
稲作情報(A北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月1日付)、岩船米生育速報(5月30日現在)(村上農業普及指導センター 5月30日)、
FAX稲作速報(三条農業普及指導センター 5月30日)、稲作情報No.3(長岡農業普及指導センター 5月31日)、
平成28年度稲作生育速報No1(佐渡農業普及指導センター 5月30日)、平成28年度「上越地域米栽培技術情報No.3(上越農業普及指導センター 5月23日)、
平成28年上越地域米水稲生育速報(上越農業普及指導センター 5月30日)、新発田地域水稲生育速報No.1(新発田農業普及指導センター 5月30日)、
新潟稲作速報No.1(新潟農業普及指導センター 5月30日)、稲作管理情報1(柏崎農業普及指導センター 5月30日)、
平成28年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月31日)、
TACS情報第1号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月1日)、
直播情報(第1号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月27日)、病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 6月1日)、
平成28年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月27日)、
病害虫発生予報第2号(石川県農林総合研究センター 5月26日)、
稲作情報No.4(福井県 水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月2日)、平成28年度農作物病害虫発生予報第4号(福井県農業試験場 5月30日)、
病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(滋賀県病害虫防除所 5月24日)、
平成28年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月3日)、
平成28年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 5月30日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(兵庫県病害虫防除所 6月2日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月1日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月1日)、
気象情報に基づく技術対策、作物(愛媛県農林水産研究所 5月31日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県病害虫防除所 5月30日)、
水稲の生育概況(平成28年度)、平成28年度における早期水稲の生育状況(5月25日時点)(高知県農業技術センター 6月1日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所 6月3日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 4月15日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 5月3日)、
平成28年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月30日)、平成28年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月30日)、
平成28年度技術情報第7号(鹿児島県病害虫防除所 6月6日)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟県地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島県地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)